

14 地域で「小さな仕事」をはじめするには？

Q

体力が落ちて働く気力がなくなり、働いて収入を得る喜びが減るのではと不安に感じています。

[40代]



A

高齢になると、これまでと同じ仕事を続けることは難しいかもしれません。しかし、退職後、気軽にはじめられる「小さな仕事」もあります。老後の「つながり」も視野に探してみると、これまでとは別のやりがいや喜びを感じられるかもしれません。



退職後の「小さな仕事」

仕事の経験や趣味・特技を生かし、少額の収入や生きがいにつながる「小さな仕事」をはじめてみるのもいいかもしれません。例えば、習いごとやセミナーの講師、小規模なお店の経営、コンサルタントやアドバイザー等。大きな負担やリスクを抱えない程度に、ゆとりをもって取り組むのがポイントです。

ファミリーサポート

子育ての援助が必要な人と子育ての援助ができる人が登録し、子育て支援活動の仲介を受ける制度です。子ども家庭庁の事業で、市区町村が実施しています。支援活動を行った方には、1時間ごとに～1,000円程度の謝礼が支払われるのが一般的です。

シルバー人材センター

高年齢者雇用安定法にもとづいて都道府県の指定を受けた公益法人が運営しています。紹介される仕事は、植木剪定・除草や自転車駐輪場整理から、保育・介護の補助業務、家事援助サービス等、多岐にわたります。平均で月数万円の報酬が支払われます。

おたがいさま

地域の団体(一部の生協を含む)や一部の市区町村では、子育て分野に限らず、「助けてほしい人」と「助けてあげたいなと思う人」とをつなぐ「おたがいさま」という助けあいの仕組みを提供しています。登録しておく、簡単な家事等の日常的な支援を必要とされている方のお手伝いを紹介してもらえ、有償で活動することができます。